

第12回滋賀県在宅医療多職種キャリアアップ研究会開催要領

1 主 催

日本プライマリ・ケア連合学会滋賀県支部

2 目 的

テーマ：～食べるを支えることは、生きるを支えること～

現代は、さまざまな背景から「生きること」への課題が多様化している時代です。ケアを必要とするすべての人が、最期まで自分らしく生き抜くことができる社会の実現が求められています。

多くの人にとって、その象徴となるのが「食べること」です。在宅において最期まで「食べる」を支えることは、本人の願い、身体の変化、家族の不安、そして支援者の専門性を持ち寄りながら、「その人にとってのより良い生」を共に探し続ける営みと言えます。

第12回目を迎える今回は、最期まで食べることを「本人の生き方」「家族の思い」「ケア提供者の責任と限界」などの視点から捉え、チームの中でいかに支えていくかを多職種で共に考えていきます。

3 後 援

滋賀県・滋賀県医師会・滋賀県歯科医師会・滋賀県薬剤師会・滋賀県理学療法士会・滋賀県作業療法士会・滋賀県言語聴覚士会・滋賀県看護協会・滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会・滋賀県栄養士会・滋賀県介護支援専門員連絡協議会・滋賀県歯科衛生士会

4 日 時

令和8年（2026年）11月3日（火・祝） 13:00～16:00

5 場 所

G-ネットしが 滋賀県立男女共同参画センター
（滋賀県近江八幡市鷹飼町 80-4）

6 参加対象者

県内および国内の医・看護学生および在宅医療に関する多職種の学生、県内および国内在宅医療に取り組む医師や指導医、多職種（歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、ケアマネ

ジャー、理学療法士、作業療法士、ヘルパー等）、養成機関、行政関係者、その他多職種関係者

7 日 程

- | | |
|-------------|--|
| 12:30～ | 開場・受付 |
| 13:00～13:05 | 開会あいさつ 滋賀県支部長 松井 善典
来賓あいさつ 滋賀県医療福祉推進課長 長崎 幸三郎 氏 |
| 13:05～14:05 | 第1部 基調講演
「高齢者の『食べる』を読み解く ～医療と生活の有機的連携とは～」
【講師】公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長 長谷 剛志 先生 |
| 14:05～14:30 | 第2部 滋賀県史上最大級の体験コーナー ～休憩タイム～
体験コーナー
＊明日から使える！教えられる！ 口腔体操
＊口腔ケア Update
＊新しい嚥下食の挑戦 |
| 14:30～15:55 | 第3部 スモールグループディスカッション
◆多職種で考える
食支援サポートツール『い～とみるカード』をつかって、食べることと生きることを、自職種の視点と多職種の視点からリアル症例をもとに考えてみよう！ |
| 15:55～ | 閉会あいさつ 企画委員会顧問 花戸 貴司 |
| 16:00 | 閉会 |